



お薬をもらう時のポイント

「にがくないおくすりをだしてください」
先日、アンケートであるお子さんからご意見をいただきました。

当院ではお子さんの症状や通園・通学の状況、今までに飲めなかった薬などの情報をお聞きし、お子さんの症状にあうというだけでなく、生活スタイルにもあったお薬の選択を心がけております。しかし中には苦いお薬もあります。特に抗生物質（バイ菌をやっつける薬）は苦みがありますが、きちんと飲まないと効果がないばかりか薬に効かないバイ菌をつくってしまう原因にもなります。もし飲めないようでしたらお申し出ください。



薬を処方される時の注意点について以下に記します。

薬を処方される時の注意点

- 1 アレルギーについては問診票や聞き取りをもとに対応していますが、卵や乳アレルギーがある場合、以前飲んでブツブツが出たり調子が悪くなった薬がある場合は、遠慮なくおっしゃってください。
- 2 薬の剤型（粉、シロップ、座薬など）についてご希望があれば教えてください。
- 3 通園・通学などで1日3回の内服が難しいようであれば教えてください。
- 4 特に抗生物質はきちんと飲むことが必要です。飲めないようなら別の薬に変える場合もありますので、そのままにしないでおっしゃってください。
- 5 薬の飲ませ方や使い方がわからない場合は、医師や薬剤師に遠慮なくお聞きください。
- 6 薬は最後まで飲んだほうがいいのか、症状がよくなったならやめていいのか、医師に確認をしておくといいでしょう。
- 7 塗り薬は、どの範囲にいつまで塗ったらいいのか確認をしておくといいでしょう。
- 8 最後に・・・お薬が終わる頃にもう一度受診が必要かどうか、医師に確認をしておきましょう。

2015年1月
院長 高嶋 能文